

能美工業株式会社

高精度な加工技術で
油圧関連部品などを製造

油圧モーターの主要部品であるスワッシュプレートが主力製品

期
納
相
談
メ
イ
ン
シ
ャ
ル

業務内容

中量生産の難易度の高い
製品で海外と差別化

創業以来、大手企業の精密部品加工を手がけてきた。現在はダイキン工業（株）の油機事業部やダイキン・ザウアーダンフォース（株）のグローバルサプライヤーとして、建設機械・農業関連機械などの特殊車両用油圧ポンプや油圧モーターの主要部品であるSWP（スワッシュプレート）、その周辺機器をメインに製造する。約500種類の多品種を扱い、月産50〜1000個の中量生産に特化。「大量生産品は海外へ出してしまう。日本でのものづくりを追求したい」と話す能美孝司社長。難易度の高い製品で差別化を図る。

強み

長年のノウハウと技術力、
豊富な材料調達先

主力製品のSWPと周辺機器は、製造が困難な変形ワークが多く、適切な切削順序などを見極めなければならない。さらに、鑄物材の粉塵による設備機械の劣化やNC（数値制御）装置トラブルなどへの対応力も必要で、長年培ったノウハウと技術力で挑戦し続けてきた。材料は鑄造業者11社、鋼材商社4社と直接取引し、安定調達が可能。単価や品質、納期など適切な業者から選べることで、大きな強みとなっている。工場には47台のさまざまなメーカーの機械が並ぶ。以前、機械工具商社に勤めていた能美社長が「各メーカーの特長を生かしたい」と揃えた。



NC旋盤による切削作業

人材育成

高精度な加工技術を
持つ豊富な人材

19名の技術者が、NC旋盤を中心とした切削グループ、マシニングセンターグループ、研磨機グループ、SWP専用ラインと、専門技術を高める人員構成での生産体制をとる。守口市は立地する大手家電メーカーの影響で、工業関連の技術者が豊富。約10年前には大手企業の離職者を数名採用し、中堅社員として活躍する。製品の製造には1000分の1mm単位の高精度な加工技術が必要で、大半の社員がこの技術をクリアしている。さらに技術を高めるため、平成25年からダイキン工業（株）内の技能オリンピックや、各種国家試験への挑戦を始めた。能美社長は「目標を持って今後も挑戦していきたい」と話す。

今後の展望

海外に注力、フレックス
タイム制で女性も積極活用

今後は新興国を中心に需要が高まる特殊建機車両、農業機械車両、産業機械など海外に力を入れる。設備も特殊装置やアイデアを生かしたより高度な設備に進化させる。米国の品質管理を取り入れ、グローバルサプライヤーとしての地位の確立も図る。

女性従業員の登用も進める。育児中の女性にフレックスタイムを活用して、2次元・3次元のCAD/CAMを用いた工程設計の補助業務などを任せる予定。能美社長は「能力が高い女性が多い。子育てが落ち着いた人なども採用したい」と話す。

COMPANY PROFILE

能美工業株式会社

大阪26

ISO 14001

当社の歴史

昭和15年、大阪市電気局（当時）で技師長を務めた創業者の能美要が、積算メーター部品加工を主とした能美工業所を設立しました。戦災で焼失し昭和20年に廃業しましたが、戦時中、米国との技術力の差を感じたことがその後の経営方針に生かされています。昭和26年、機械部品加工業として新たに創業し、切削加工を中心に技術の研鑽を重ねてきました。

片状黒鉛鑄鉄（FC）、球状黒鉛鑄鉄（FCD）など、
月産50〜1000個の中量生産が得意です。

代表取締役 能美 孝司さん

■主な事業内容
機械金属加工業■主な取引先（納入先）
油圧機器部品メーカー、
船舶用エンジンメーカー、
電力機器部品メーカー

住所／〒570-0032
守口市菊水通
3-11-17

TEL／06-6996-9251
FAX／06-6996-5351
創業／昭和26年3月
設立／昭和41年3月
資本金／2,000万円
従業員／23名